

図書館かがわ

香川県立図書館報 第124号

Library Kagawa



発行日 2019.7.1

ISSN 1344-5464

やってみよう！
はじめての将棋



おはなし会



サイエンスショー



としょかんバッグをつくろう！



「こども読書まつり」を開催しました。

県立図書館では毎年、「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」にあわせて「こども読書まつり」を開催しています。今年は4月20日（土）、27日（土）、5月11日（土）に、おはなし会、かみしばい会、工作、将棋教室などを行い、約500名の方が参加してくれました。

おはなし会、かみしばい会では絵本の読み聞かせ、わらべうた、パネルシアター、かみしばいを多くの子どもたちが楽しみました。

「伝承手づくりおもちゃ教室」では、びゅんびゅんごま、かざぐるま、わりばしでっぼうなど昔ながらのおもちゃを作って遊びました。「としょかんバッグをつくろう！」では、白いバッグに布用クレヨンやスタンプで自由にお絵かきをして、自分だけのバッグを作りました。「やってみよう！はじめての将棋」では、事前募集した子ども20名が、駒の種類と動かし方を覚えて、はじめての将棋に挑戦しました。サイエンスショーでは、磁石の力や性質を知る実験を見たり、磁石のおもちゃを作って、子どもも大人も楽しみました。

県立図書館ではこれからも、子どもたちが図書館や読書に親しむきっかけとなる行事を行いますので、どうぞご参加ください。

新任館長あいさつ

新しい元号である「令和」が、萬葉集の「梅花歌三十二首」の漢文の詞書（ことばがき）からとられたということで、日本の古典文学にしばらくは光が当てられそうです。

萬葉集の和歌は、古事記や日本書紀の歌謡にその起源があると言われていますが、もともとは大和言葉で歌われたものです。これを書物として書き記す際に、当時まだ固有の文字がなかったため、日本語の一音一音に同じ音訓の漢字をあてる万葉仮名という表記方法が用いられました。

そこで、写本として伝わった萬葉集をどのように読むのか、何が歌われているのかということに後世の人々は多くの力を注ぎ、苦勞してこれを解明し、たくさんの注釈書が書かれました。今でも萬葉集研究は進められており、県立図書館にも何種類かの注釈書の全集を所蔵していますが、最近「令和」の出典とされる巻五の部分だけが貸し出されているのをよく見かけます。

このように多くの人々が長い年月をかけて築き上げた、様々な分野の知の集大成ともいえる書物を資料として集め、保存して、県民の皆さんに提供するとともに、次の世代に伝えていくことが図書館の使命です。利用者の皆さんには、県立図書館でこうした先人の知に触れていただき、図書館をより身近に感じていただければ幸いです。

私どもスタッフ一同、より良い図書館を目指して取組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

香川県立図書館長 渡邊 勇人

平成30年度 香川県立図書館の統計データがまとまりました！

	開館日数	入館者数(人)		* 個人貸出(冊)	
		合計	1日平均	合計	1日平均
平成30年度	298	459,102	1,541	897,552	3,012
平成29年度	288	448,778	1,558	909,422	3,158
増減	10	10,324	▲ 17	▲ 11,870	▲ 146

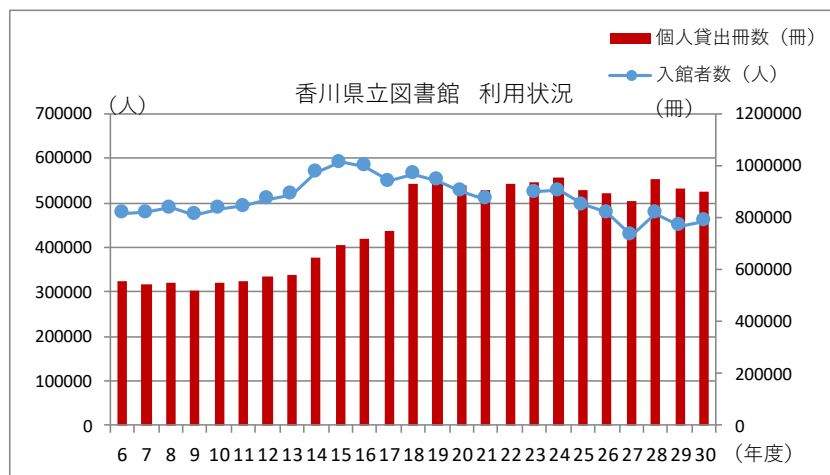
* 団体貸出と図書館への貸出を除いた、個人の利用者への貸出冊数

右の図は、新館開館から昨年度までの利用状況のグラフです。

平成30年度は例年通りの開館日数でした。29年度に比べ、入館者数は増加しましたが、個人貸出冊数は減少となりました。

今年は県立図書館の新館が開館し、25年となります。蔵書の充実、さまざまな展示や行事などを予定しています。

どうぞご利用ください！



*平成22年度の入館者数は、機器の故障により未測定

※詳しい統計データは香川県立図書館ホームページをご覧ください。 <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

この本オススメです！

～ 海 ～

7月第3月曜日は「海の日」です。国民の祝日に関する法律では、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことが趣旨とされており、毎年この時期になると海に関するさまざまなイベントが開催されます。

潮干狩り、海水浴などで海に出かける方が増える季節にあわせて、今回は海に関連する本を紹介します。



『海辺の漂着物ハンドブック』

浜口哲一／著（文一総合出版）2009.6
（請求記号：38000/H1）

「ビーチコーミング」という言葉を聞いたことがありますか？ 浜辺を歩いて、流れ着いた物を拾い集めることです。見つけて集めるだけでなく、工作材料として作品を作ったり、インテリアとして飾ったり、楽しみ方はいろいろ。

この本では代表的な漂着物を「どこから来たのか」で分類しています。入門書として手に取りやすいポケットサイズのガイドブックです。



『Waves of North Shore』

クラーク・リトル／写真，鈴木沓子／訳
（パルコエンタテインメント事業部）2014.7
（請求記号：7480/L10）

この写真集を初めて手にした時の衝撃は忘れられません。海の波は常に動いており、高くうねった波が落ちるまでにはごくわずかな時間しかないはず。でもちょっと待って、この写真、いったいどうやって撮ったの？！

ハワイのノースショアで育ち、サーファーでもある写真家が、岸辺で波が砕ける瞬間を防水カメラで撮影した作品集です。



『海の大図鑑 イラストレイテッド・アトラス』

深澤 理郎／監訳，こどもくらぶ／訳
（丸善出版）2016.5（請求記号：4520/U5）

そもそも海って？と思ったらこの本をどうぞ。前半は、海の定義やしくみ、環境・海洋生物など、後半は大西洋やインド洋など海域ごとに各地の様子をわかりやすく解説しています。

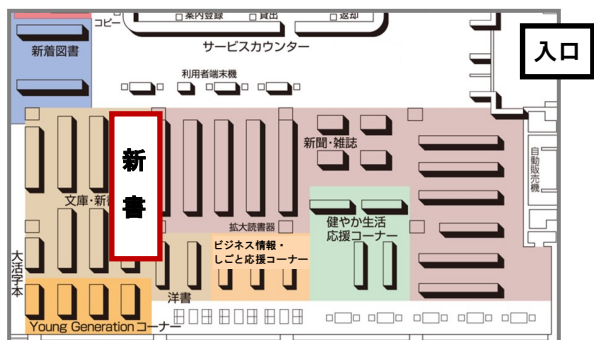
グラフや図表で詳細な説明がされているので、知識が深まるうえに写真やイラストも多く掲載されているので、眺めるのも楽しい図鑑です。

●新書コーナーが利用しやすくなりました●

これまで閲覧室の一般資料コーナーのそれぞれの分類のところに並べていた新書を新書コーナーに集めました。

集めた新書は、以前から新書コーナーにあった新書とまとめて、請求記号順に並べています。どうぞ、ご利用ください。

(新書コーナー見取り図)



●以前から新書コーナーにある新書

- ・岩波新書
- ・講談社現代新書
- ・ちくま新書
- ・中公新書
- ・日経文庫
- ・ブルーボックス
- ・丸善ライブラリー
- ・文庫クセジュ

●新書コーナーに移動した新書

- ・PHP新書
 - ・集英社新書
 - ・平凡社新書
 - ・NHK出版新書
 - ・講談社+α新書
 - ・平凡社新書
- など

◆マルチメディアデジターで香川県の昔話「力蔵(りきぞう)さん」が、利用できるようになりました。

マルチメディアデジター図書「わいわい文庫2019年版Ver. BLUE」に収録されています。これは、香川県立図書館が公益財団法人伊藤忠記念財団に協力して作成したものです。

※マルチメディアデジターとは、活字による読書が困難な方のための資料で、音声とじっくりと画像や文章が表示され、読みやすい文字の大きさや、音声のスピードを選んで楽しむことができます。



* デジター資料コーナーにあります。

●開館時間延長のお知らせ●

県立図書館では、7月から9月まで、毎週金曜日の開館時間を1時間延長し、午前9時から午後8時までとします。

夏の週末、ゆっくりと読書や調べものにご利用いただけます。お仕事帰りにもお立ち寄りください。

皆さまのご来館をお待ちしています！

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>